

普及活動情勢報告（令和4年12月分）

高吾農業改良普及所

佐川町でゆめのかの出荷が始まる！～園巡り・目慣らし会～



佐川町で”ゆめのか”の収穫が始まり、JA佐川支所苺部会では11月29日に園巡りと目慣らし会を実施し、生産者13名が参加しました。今年は定植が遅れましたが、開花後に気温が高かったことで、収穫開始時期は例年並みになりました。

苺部会ではハダニ類に対して殺虫効果が高い炭酸ガスくん蒸処理装置を導入していますが、昨年度施用時の温度が足りず、殺虫効果が下がりハダニ類の発生が定植後に見られました。そこで、普及所は、今年度、殺虫効果が期待できる温度で施用し、定植後のハダニ類の密度調査を行い、生産者に周知を図りました。生産者からは「ハダニ類の密度推移について」質問が多数ありました。

今後も普及所は、病害虫防除や栽培管理での指導を通して”ゆめのか”の安定生産を支援していきます。

ニラの経営改善を目指して～SAKAWAニラ女性部の先進事例研修～



12月7日、SAKAWAニラ女性部7名が、JA高知県佐賀支所集出荷場と黒潮町の篤農家ほ場で研修を行いました。

集出荷場では、ニラのそぐり作業と受け入れ体制について質問し、「他の出荷場を見たことがなかったため勉強になった」といった声がありました。また、ほ場では、千鳥マルチや灌水チューブについて質問がありました。

参加者からは、「良いと思ったものは取り入れていきたい」「他の人の経営を知り、情報共有ができて良かった」といった、経営改善に意欲的な声が聞かれました。

普及所では、今後も女性農業者から学びたい内容を聞き取り、研修会の機会を作り経営改善等につなげていくよう支援します。

未来の仁淀川町の茶業を考える！～担い手農家との意見交換～



12月19日、仁淀川町役場で担い手農家3名と関係機関職員が参加し「第2回仁淀川町の今後の茶業を考える会」が開催されました。生産性の高い茶畑の維持や、担い手の確保・販売促進などについて意見交換し、参加者全員で生産性の高い茶畑を地図と航空写真で確認しました。写真では分からない傾斜程度も考慮して、管理し易い畑と困難な畑を分けていきました。農家からは、「地域の農地を守るには、担い手への支援を厚くしてほしい。」という意見がありました。普及所は、今後も仁淀川町の茶業振興を支援していきます。